

2004(平成 16)年 3 月 31 日現在

履 歴 書			
氏 名	矢吹 晋 (やぶき・すすむ)	本籍地	東京都武蔵野市吉祥寺本町*-****
生年月日(年齢)	1938(昭和 13)年 10 月 1 日(65 歳)	現住所	東京都町田市玉川学園*-.***
学 歴			
年 月	事 項		
1962 年 3 月	東京大学経済学部卒業		
職 歴			
年 月	事 項		
1962 年 4 月	東洋経済新報社編集局記者(～67 年 9 月)		
1967 年 10 月	アジア経済研究所調査研究部研究員(～76 年 3 月)		
1976 年 4 月	横浜市立大学商学部助教授(中国語、中国経済論担当～85 年 3 月)		
1985 年 4 月	横浜市立大学商学部教授(中国語、中国経済論担当～2004 年 3 月)		
1987 年 4 月	横浜市立大学大学院経済学研究科講義担当(中国経済研究～2004 年 3 月)		
1997 年 4 月	横浜市立大学大学院経済学研究科博士課程新設に伴い、演習担当教授(いわゆるマルゴウ) 審査に合格(中国経済研究)		
2004 年 3 月	横浜市立大学定年退職、以後、無職。		
兼 任			
1969 年 4 月	神奈川大学経済学部非常勤講師(中国経済論)(～71 年 3 月)		
1969 年 9 月	東京大学教養学部非常勤講師(中国語、全学一般ゼミ担当)(～71 年 3 月)		
1971 年 4 月	シンガポール南洋大学アジア文化研究所客員研究員(～72 年 3 月)		
1972 年 4 月	香港大学アジア研究センター客員研究員(～73 年 3 月)		
1973 年 4 月	東京大学教養学部非常勤講師(中国語、全学一般ゼミ担当)(～79 年 3 月)		
1977 年 4 月	学習院大学文学部非常勤講師(中国現代史)(～79 年 3 月)		
1979 年 4 月	日本国香港総領事館特別研究員(～80 年 9 月)		
1981 年 4 月	東京大学教養学部非常勤講師(中国語)(～88 年 3 月)		
1984 年 4 月	関東学院大学経済学部非常勤講師(中国経済論)(～85 年 3 月)		
1986 年 4 月	学習院大学文学部非常勤講師(現代中国論)(～88 年 3 月)		
1993 年 4 月	桜美林大学大学院国際学研究科非常勤講師(中国経済特講) (～2000 年 3 月)		
2001 年 11 月	国务院外交部直属北京外交学院にて集中講義(1 カ月、日中関係論)		

学会および社会における活動等	
年 月	事 項

	(所属学会等)
1967年～2004年	現代中国学会会員(1989年～94年、幹事)
1967年～2004年	アジア政経学会会員
1967年～2004年	比較経済体制学会会員(旧社会主義経済学会)
1991年～	朝河貫一研究会(事務局早稲田大学、創立以来幹事)
1994年～2004年	国際経済学会会員
	(学会および国際会議報告)
1970年大会	文化大革命をめぐって(旧社会主義経済学会、於愛知大学)
1975年大会	中国の経済学教科書について(旧社会主義経済学会、於小樽商科大学)
1977年12月	第7回香港大学リバーヒューム・コンファランス(於香港大学)
1979年4月16日～30日	中国訪問(北京、南京、杭州、上海)
1979年9月27日～ 10月20日	中国訪問(北京、西安、洛陽、鄭州、武漢、上海、無錫、蘇州、広州)
1982年4月	中国の経済調整について(アジア政経学会、於千葉商科大学)
1983年6月	中ソ経済協力の展望(於ソ連科学アカデミー極東研究所)
1983年9月11日～24日	中国訪問(北京、西安、陝西省淳化県、成都、四川省臥龍、北京)
1985年10月	中国訪問(北京、西安、上海、広州、深圳、香港)
1986年11月	中国訪問(香港、厦門、福州、香港)
1987年9月	国際統計協会第46回大会招待報告(於東京、Rapid Population Growth in 17-18 <sup>th</sup> Century China, Invited Paper 46 <sup>th</sup> Session of the International Statistical Institute)
1987年10月	中国訪問(北京、西安、上海、広州、深圳、香港)
1987年大会	中国の政治改革について(現代中国学会、於大阪外国語大学)
1988年6月17日	国際シンポジウム・日中経済協力の現状(於韓国ソウル・韓国金星経済研究所)
1988年9月	中国訪問(上海、長沙、北京)
1988年10月	中国訪問(北京、秦皇島、上海)
1989年9月18日	日中経済協力の展望(於韓国ソウル・韓国三星経済研究所)
1989年3月	中国訪問(北京)
1989年4月6日	戦後の日中関係と日本知識人(於米国ミシガン大学日本研究センター、How did the China issue affect a Japanese intellectual?)
1989年8月	戦後日本の民主化問題(於台北中国時報社、中国民主前途討論会)
1990年8月	中国訪問(北京、南京、淮陰、広州、香港)
1991年5月27日	国際シンポジウム「東北アジアの新秩序」(読売新聞社主催)
1991年8月	中国訪問(北京)

1992年8月	中国訪問(香港、広州、北京)
1993年3月9日	神奈川県・遼寧省友好20周年シンポジウムで基調報告
1993年4月14日	日米グローバル会議に出席し、中国経済についてコメント
1993年7月	中国訪問(大連、瀋陽、長春、琿春、ハルピン、伯力、浦塩)
1993年8月4日	華南経済圏と日本シンポジウムで報告(於広州、日本総領事館主催)
1993年9月28日	東京コロキウム「アジアの挑戦」で報告(於北九州市)
1993年11月	中国訪問(北京)
1994年3月	第4回KSP国際フォーラム「東アジア経済発展の課題と日本の役割」で報告(神奈川サイエンス・パーク)
1994年8月	中国訪問(上海、昆山、蘇州)
1994年10月	中国訪問(上海、重慶)
1994年7月5日	日中エネルギー専門家会議で報告(財団法人新構想研究会主催)
1995年3月7日	シンポジウム「中国経済における中央と地方」報告(於関西大学法学研究所)
1995年3月26日	日本・台湾知識人会議で報告(於台北、交流協会主催)
1995年6月10日	中国の政治改革(於日本大学経済学部、比較経済体制学会7年大会)
1995年6月12日	日本オーストラリア「中国の未来」シンポジウムで報告(経団連主催)
1995年7月3日	日米グローバル会議に出席し、中国の将来展望にコメント
1995年10月15日	文明史上の台湾・国際シンポジウムで報告(台湾大学日本総合研究センター主催)
1995年9月	中国訪問(北京、瀋陽、ウルムチ、蘭州、成都、上海)
1995年12月	中国訪問(北京、鄭州、上海)
1996年4月	香港訪問
1996年8月8～16日	天津市人民政府経済発展研究センターでレクチャー
1996年9月	中国訪問(北京、長春、公主嶺、大連)
1997年6月	比較経済体制学会97年大会で報告(中国の国有企業改革、於旭川大学)
1997年7月	台湾大学法学院客員研究員として1カ月研究
1998年3月19日	神奈川KSP国際シンポジウムでコーディネーター(神奈川サイエンスパークにて)
1998年5月	日中正常化25周年天津会議で報告(於天津市)
1998年8月24日	東亜経済人倶楽部年次会議講演(於経団連)
1998年10月31日	横浜市立大学国際文化学部創設記念シンポジウムにパネラー参加(於横浜市教育文化センター)
1998年11月28日～ 12月13日	中国訪問(北京、上海＝汪道涵会見)

1999年4月5日	Foreign Correspondents' Club において Book Break を行う(共著者 S. M. Harner とともに)
1999年8~9月	ハンガリー科学アカデミー世界経済研究所にて調査研究(40日)
2000年4月	米国イェール大学図書館訪問
2000年8月12日	第1回日中コミュニケーション研究会北京シンポジウムにて報告
2000年8月26日	中国社会科学院日本研究所北京シンポジウムにて報告
2000年11月18日	西部大開発成都シンポジウムにて報告
2001年2月	台湾政治経済事情視察
2001年8月	台湾政治経済事情視察
2001年11月2日	日中コミュニケーション研究会第1回上海シンポジウムにて報告
2001年11月24日	日中コミュニケーション研究会第2回北京シンポジウムにて報告
2001年12月	台湾訪問、三菱商事主催シンポジウムにて報告
2002年4月	米国イェール大学図書館訪問
2002年4月16日	日中国交正常化30周年北京シンポジウムにて報告(国貿促主催)
2002年10月26日	日中国交正常化30周年北京シンポジウムにて報告(中国社会科学院アジア太平洋研究所主催)
2002年11月6日	上海市政府経済委員会主催シンポジウムにて報告
2002年11月26日	日中コミュニケーション研究会北京シンポジウムにて報告 (委員の委託又は社会における活動等)
1987年11月11日	水曜会において中国情勢について講演(於首相官邸)
1988年9月	外務省の委嘱により、対中国経済協力評価調査団の団長として訪中
1989年~3年	国際協力事業団「対中国国別研究会委員」を務める
1990年5月9日	水曜会において中国情勢について講演(於首相官邸)
1991年~1995年	福島県教育委員会主催の「朝河貫一賞」審査委員会委員長を務める
1992年~1997年	日本国際フォーラム政策委員
1992年12月	日本国際フォーラムの委託により、ベトナムを訪問
1993年3月	日本ディッチリー委から派遣され、英国ディッチリー会議出席 [ニセ貴族体験]
1993年11月	福島県二本松市教育委員会編『朝河貫一』を監修
1993年10~11月	財団法人新構想研究会の委託により中国のエネルギー事情を視察
1994年10月	経済企画庁の委託調査のため、上海・重慶の国有企業を調査
1994~7年	NHK スペシャル「12億人の改革開放」の取材協力(全12回)
1995年7月	財団法人新構想研究会常任委員(~1999年)
1995年10月	米国アスペン研究所主催の日米対話で報告(於米国ワイリバー)
1996年~97年	経済企画庁「中国の将来とアジア太平洋」研究会委員

1997年～99年	財団法人国民経済研究協会評議員
1998年1月	日本ディッチリー委から派遣され、英国ディッチリー会議出席 [ニセ貴族体験]
1998年	財団法人亜細亜農業技術交流協会理事に就任、現在に至る
1999年1月2日	NHK衛星放送「激動の世界経済・中国篇」出演(北京取材)
2000年1月2日	NHK衛星放送「激動の世界経済・中国篇」出演(スタジオ出演のみ)
2001年～14年	内閣府「経済協力効率化の官民パートナーシップ研究会」委員
2002年1月3日	NHK衛星放送「激動の世界経済・中国篇」キャスター出演
2002年6月1日	NHK衛星放送「国民車を13億人に」キャスター出演
2002年11月20日	朝河貫一フォーラム二本松会議でパネラー参加(福島テレビ11月30日放映)
2003年1月3日	NHK衛星放送「激動の世界経済・中国篇」出演
	賞 罰
1995年12月	<i>China's New Political Economy</i> が米国 <i>Choice</i> 誌によって、 <b>Outstanding Academic Book for 1995</b> に選ばれた。
上記のとおり相違ありません。	
2004年3月31日 氏名 矢吹 晋	